

岐阜県立岐阜高等学校 校歌

作詞 松平 静
作曲 伊藤 栄治
編曲 浅野 誠



せ じんのたけ きん かざん ひゃくりのみず な がら がわ
(か) かいのなみ あら くとも き ぼうのきし と おく とも



か ようのけんじ ここに うまれて こ っか のた めに あ けくれまなぶが
か ようのけんじ こ ころ おお しく ひゃくせ つふ とう



つとめてやまずふ る え ふ る え ほ こるさいこの



れ きしある わがこ うこ うの ほまれをば あ げ よ も



ろ びと も ろ と も 一 に

千仞の嶽	金華山
百里の水	長良川
華陽の健児	ここに生まれて
国家の為に	明け暮れ学ぶ
学海の波	荒くとも
希望の岸	遠くとも
華陽の健児	心雄々しく
百折不撓	つとめて止まず
奮へ	奮へ
誇る最古の	歴史ある
我が高校の	誉れをば
誉げよ諸人	諸共に

岐高女校歌

一、ああすのらみ園 榮ゆるみ代に
われら起女 生れあひたる幸
胸の鏡と 日々にあふく
教への道へ 物語

二、見よ稲葉山の 姿は高し
われら起女 高く心を保たむ
園の御為に 人の為に
力のかきり つくさはや

三、きけ長良川の 瀬の音は清し
われら起女 清く心とみかかむ
はけみいそしみ 探かたく
明るき微笑 うつくしく

姫小松

一、学びの庭の 姫小松
千代の襟に たぐへつ、
種もしその日のめぐりきぬ
いせや祝わん 諸共に

二、恵みのつゆに うらおいし
みとりゆわしき 姫小松
いよよますますしげるべし
千代に八十代にせかえなん

藍水くらぶ

高木 あい華

姫小松(創立記念日の歌)

岐高女 校歌

まなびの にわの ひめこまつ ちよのみさをに
めぐみの つゆに うるほひし みどりゆかしき

たぐへつ つ う一返し そのひのめぐりきぬ
ひめこまつ いよよますますしげるべし

いさやーい わはん もろとも に
ちよにーや ちよに さかえなん

ああ す めらみく に さか ゆるみよ に わ
みよ い なばやま の す が た はたか し わ
き け な がら が わ の せ の と はきよ し わ

れらをとめう まれあひ たるさ いはい むねの
れらをとめたか くこころを たもたむ くの
れらをとめきよ くこころを みがかむ はげみ

か がみと ひびに あふーぐおし えのみ ちのみ ことのり
みために ひどの たーめにちから のかぎりつくさばや
いそしみ みさお かーたーか かるきえまひうつくしく

もくじ

- 1 岐阜県立岐阜高等学校 校歌
- 2 岐阜女校歌 姫小松（創立記念日の歌）
- 4 挨拶 思いを託す 同窓会 会長 水谷邦照
- 5 祝辞 「同窓会総会」をお祝いして 岐阜高等学校 校長 南谷清司
- 6 祝辞 温故創新 運営委員会 委員長 杉山保幸
- 7 総会・懇親会・次第

議案・規約

- 8 第1号議案／第4号議案／第3号議案
- 9 第2号議案 平成27年度岐阜高等学校同窓会 決算報告
- 10 第5号議案 平成28年度岐阜高等学校同窓会 予算案
- 11 平成27年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 決算書
- 12 平成28年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算書
- 13 岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

特集

岐高グラフィティ

14 OUR SWEET MEMORIES

学校生活／体育祭／文化祭／林間学舎、山の家／修学旅行・スキー研修

18 あの時代のいじり

1955～2005岐高生の心に残ったことは

20 懐かしの岐高新聞 号外

「岐阜高校らしさ」とは？ 岐高生チェック
現代の岐高生群像 たぬきねいり など



Memories

22 恩師からの便り

大矢邦彦／渡邊利昭／小池亮一／日比野安平
大橋則雄／丹羽 章

同窓生寄稿

28 あのころ・このころ

40 「岐高だより」(第122号、平成28年3月1日)より

44 岐阜高校 今

「グローバル・リーダー養成」(岐阜新聞掲載)より

45 2016年度 大学入試結果

46 応援団々歌／凱旋歌

47 会報協賛広告

150 平成28年度 同窓会総会出席者名簿

153 平成28年度 岐阜高校同窓会総会運営委員会 名簿

154 広告協賛の御礼・編集後記



思いを託す



岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長 水谷 邦照

平成28年度の岐阜高等学校同窓会総会が、多数の同窓生の皆様にご出席いただき、盛大に開催されますことを皆様とともに喜びたいと存じます。今年もまた、先輩・同輩・後輩の元氣な姿を見て、お互いに近況を語り合えることを楽しみにいたしております。

さて、岐阜高校では、後輩たちが授業や部活動などに元氣に取り組んでいます。彼らは青春真っ盛り、若さも悩みも感性も特権のようにもっております。岐高生の活躍ぶりは、時折新聞紙上などで紹介され、そうした姿を目にすると、とても頼もしく思うとともに、自分たちの頃と比べて懐かしく思ったり、最近の岐阜高校について認識を新たにしたりと、いろいろなことを感じます。

岐阜高校では、昨年度までの三年間、「グローバルリーダー養成事業」が県の事業として指定され実施されてきたとうかがっています。この「グローバルリーダー養成事業」では、いくつかの有意義なプログラムが企画されて生徒が積極的に参加しており、今年度も継続して実施されるということです。

この事業で行われる各種プログラムの、普段の教科の授業とはやや異なり、勉学することの真の意義、さらには人生における自分の生き方や目標を見出す上で重要なものです。車で言えば、日々の勉強とともにどちらも欠くことのできない両輪に喩えられるのではないのでしょうか。そしてその成果は徐々に現れてきています。生徒諸君が、どんな大学に入り、どんな分野に進もうとも、文武両

道の精神のもとで養った力を存分に発揮してほしいものです。そして、人として信頼されるだけでなく、とかく混迷した社会の中に明かりを点し、進むべき道を指し示すことができるような存在となるよう、願わずにはいられません。現在の岐阜高校に学ぶ後輩たちが、卒業して二十年、三十年と経ち、社会の中堅、中軸となったとき、どんなふうになっているか、大いに期待されるところであり、また楽しみでもあります。

結びに、本年度の総会の準備、運営を担当された昭和48年、昭和58年、平成5年卒業の皆様には、格別のご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



「同窓会総会」をお祝いして

岐阜県立岐阜高等学校 校長 南谷 清司

平成二十八年度の岐阜高校同窓会総会が水谷邦照会長様をはじめ役員・運営委員の皆様方の御尽力により、多数の会員の皆様方の御出席を得て盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、平素より本校の教育活動に対し、格別の御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私こと、この四月の人事異動で岐阜高校にお世話になることになりました。本校創立百周年の年には第三学年に在籍しており、皆様と同様に岐阜高校同窓会の会員でもありません。大変微力ではありますが、母校のため、また岐阜高校の益々の充実発展のために精一杯努めさせていただきますので、御支援、御協力をよろしく願います。

さて、御存知のように、本校の生徒は「百折不撓・自彊不息」の校訓のもと、輝かしい歴史伝統を受け継ぎながら、文武両道をモットーに日々学習や部活動にと励んでおります。文の象徴である今春の進路結果は同窓会会報でお知らせさせていた

だいた通りですが、武の方でも限られた時間を有効活用して県内外で活躍しました。

その一端を御紹介させていただきますと、陸上競技部では、男子が四百m、走り幅跳び、千五百m、五千m、女子が四百m、百mH、四×百m(リレー)、四×四百m(リレー)、水泳部では男子が百m自由形、二百m自由形、四百mメドレーリレー、四百mリレー、八百mリレーで東海高校総体に出場しました。

また、全国高等学校総合文化祭に書道部、文芸部、自然科学部、写真部、囲碁部が参加し、書道部が特別賞、自然科学部が文化庁長官賞を受賞しました。他にも、音楽部がNHK全国学校音楽コンクール東海北陸大会で奨励賞を、吹奏楽部が東海アンサンブルコンテストで銀賞を、家庭クラブが全国高校生ホームプロジェクトコンクールで優秀賞をそれぞれ受賞し、将棋部が全国高校将棋選手権大会に、クイズ研究部が全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」全国大会に出場し

ました。

さらに、科学技術振興機構主催の四十七都道府県から各一校ずつが選抜されて競い合う「科学の甲子園」に二年生の選抜メンバーが岐阜県代表として出場し、見事総合第三位に入賞しました。また、国際連合大学で開催された全日本高校模擬国連大会に一年生と二年生がハイチ大使役、アルジェリア大使役として参加し、「移民」をテーマに議論しました。

このように、岐高生は皆様の期待に応えるべく様々な分野で大活躍をしています。今後とも、本校の教育活動に絶大なる御支援と御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年度の総会のお世話をいただきました杉山保幸運営委員長をはじめ、当番幹事の昭和四十八年、五十八年、平成五年卒業の皆様方の御尽力に感謝するとともに、併せて会員の皆様方の御健康と御多幸、そして同窓会の益々の御発展を心から祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



温故創新



平成 28 年度同窓会総会運営委員会 委員長 杉山 保幸

本校は一八七三年(明治6年)に開校し、今年で創立一四三年目を迎えますが、岐阜県の内外から文武両道をモットーとした歴史と伝統を誇る進学校と評価されています。これは4万人を超える多くの同窓生の努力の積み重ねによって築き上げられたものであることは論を待ちませんが、このような母校の同窓会総会な

らびに懇親会の運営を担当させていただけましたこと、非常に光栄に存じております。今年度のテーマは、これまでの本校の歴史や伝統をもう一度振り返り、新たな段階へ展開するための土壌を創り出すという意味を込めて、『温故創新』とし準備を進めてまいりました。本校の同窓会総会運営委員会は、還暦を越えた年代、各界各層でリーダーとして活躍する年代、仕事と子弟の教育に奔走している年代の3学年が幹事学年としてメンバーが構成されるのが慣例であり、他校にはない独自のシステムであります。例年、最年長の学年が中心となり、20年前あるいは10年前の経験を活かし、創意工夫を重ねた企画が創り上げられています。今回

も英知を結集したものができたと自負いたしておりますが、ご臨席いただきました皆様のご満悦いただけましたら望外の喜びです。

さて、日本では諸外国に例をみない速さで高齢化が進んでおり、団塊の世代(約八〇〇万人)が75歳以上となる二〇二五年(平成37年)には、少子化時代とも相まって超高齢化社会となります。そのため、住み慣れた地域で異なった世代が互いの立場を理解して支え合いながら社会生活、日常生活を営むという『地域包括ケアシステム』の構築が推進されていることはよくご存知のことかと思えます。今回の平成28年度同窓会総会運営委員会の活動は、まさにその将来の縮図を垣間見たものであったといっても過言ではありません。これまで生きてきた時代背景のみならず、考え方や発想も大きく異なつた年代が膝を突き合わせて議論する中で、効率的な運営を企図するため

に各々の幹事学年にふさわしい業務を分担する方針といたしました。会報の企画・編集は昭和48年卒が中心となつて行い、会報に掲載する広告

依頼については昭和58年卒、すなわち社会を動かす原動力となっている年代に任せましたが、そのパワーには目を見張るものがありました。また、本日の総会・懇親会の内容は3学年合同で練り上げたものですが、卒業後初めて幹事学年を務めた平成5年卒の『フレッシュな目線』は、事なかれ主義に陥りやすい年代への

カンフル剤となつたのは紛れもない事実です。総務部会(事務局)、会報部会、動員部会、会場部会、情報部会、財務部会の各スタッフがIT技術を活用して情報を共有し、お互いに密に連携を取りながらビッグイベントに取り組んだ経験は、近い将来に遭遇する超高齢化社会を健全に生き抜いてゆくためのノウハウにつながるものと確信しています。

最後に、ご指導ご鞭撻を賜りました岐阜高校同窓会役員の皆様、運営委員諸氏ならびに有形無形のバックアップをいただいた幹事学年の同窓生、さらに広告協賛や協賛金を賜りました多くの方々には厚く御礼を申し上げます。

平成 28 年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会 総会・懇親会 次第

平成 28 年 6 月 12 日 (日)
於 岐阜グランドホテル

1. 総会 (11:00 ~ 11:45)

開会の辞

黙祷

同窓会会長挨拶 会 長 水谷 邦照

学校長挨拶 岐阜高等学校 校長 南谷 清司

議案審議

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告

第 2 号議案 平成 27 年度決算報告ならびに監査報告

第 3 号議案 平成 28 年度役員 (案)

第 4 号議案 平成 28 年度事業計画 (案)

第 5 号議案 平成 28 年度予算案

祝辞 名 誉 顧 問 古田 肇

閉会の辞

2. 岐阜高校部活動紹介 (11:45 ~ 12:00)

岐阜高等学校 応援團、チアリーディング部の皆さんによる演技



応援團は現在3年生5人、2年生2人、1年生9人の16人で活動しています。先代から脈々と受け継がれている伝統を守りながら後輩へ伝えるべく日々精進しています。これからも岐阜高校の校訓でもある百折不撓と自強不息の精神で己を鍛錬します。

岐阜高校の先輩方に見守っていただけたら幸甚に存じます。
(応援團長 澤田 松三郎)

岐阜高校チアは発足当初は同好会でしたが、3年前に正式な部として認められました。今年で7代目となります。今年度の部員数は3年生9人、2年生11人、1年生11人の総勢31人で活気ある部活動を行っています。夏の野球応援をはじめ、体育大会の応援団や文化祭でのダンスステージなども行い、応援のみでなく、ダンスのスキルを高める活動もしています。

(チア部長 赤堀 繪南)

3. 懇親会 (12:15 ~ 14:00)

開会のことば 平成 28 年度同窓会総会運営委員会委員長 杉山 保幸

恩師紹介

乾杯 在京 (首都圏) 岐阜高校同窓会 会長 尾関 良平

旧藍水くらぶ 会長 村瀬 喜代子

祝電披露

平成 29 年度同窓会総会運営委員会 委員長紹介 遠藤 宏治 (昭和 49 年卒)

校歌斉唱

閉会のことば 平成 28 年度同窓会総会運営委員会副委員長 坂井田 勉

以上

第1号議案 平成27年度事業報告

第1回役員会	4月30日
同窓会総会	6月14日
第2回役員会	9月16日
臨時役員会	12月15日
第3回役員会	2月2日
在京(首都圏)同窓会総会	6月27日

第4号議案 平成28年度事業計画(案)

第1回役員会	5月2日
同窓会総会	6月12日
第2回役員会	9月15日
第3回役員会	2月7日
在京(首都圏)同窓会総会	7月2日

第3号議案 岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員(案)

名誉顧問	古田 肇 (昭和41年卒)		
顧問	杉山 幹夫 (昭和20年卒)	野々垣 孝 (昭和31年卒)	森川 幸江 (昭和40年卒)
名誉会長	南谷 清司 (昭和49年卒)		
会長	水谷 邦照 (昭和41年卒)		
副会長	大松 利幸 (昭和40年卒)	木方伸一郎 (昭和46年卒)	木村 容子 (昭和46年卒)
	後藤 寿彦 (昭和47年卒)	杉山 正裕 (昭和49年卒)	遠藤 宏治 (昭和49年卒)
	*松波 英寿 (昭和50年卒)	村瀬 幸雄 (昭和50年卒)	神谷真弓子 (昭和51年卒)
	杉山 文康 (昭和54年卒)		
会計	杉山 正裕 (昭和49年卒)	杉山 文康 (昭和54年卒)	
監査	佐伯 淑子 (昭和55年卒)	伊在井みどり (昭和54年卒)	

氏名の前に*印のある方が新任の候補者です。そのほかの方は再任候補者です。

第2号議案 平成27年度岐阜高等学校同窓会 決算報告

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	3,108,363	3,108,363	
同窓会入会費	1,179,000	1,176,000	@ 3,000 × 392名
受取利息	379	454	普通預金利息
雑収入	0	83,510	同窓会名簿販売等
計	4,287,742	4,368,327	

支出の部

役員会費	50,000	42,339	3回
慶弔費	50,000	0	
祝儀、饗別	200,000	99,176	在京同窓会祝儀、感謝状関連費等
総会運営費	300,000	300,000	平成28年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	76,300	在京同窓会出席者旅費
通信費	10,000	5,728	切手、送料等
ホームページ関連経費	200,000	168,372	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
手数料	10,000	5,292	振込手数料
校史資料整理備費	100,000	0	
卒業記念品	1,100,000	1,093,500	文鎮 @405×2,500個
雑費	0	4,800	講師を囲んでの昼食会
次年度繰越金	2,167,742	2,572,820	
計	4,287,742	4,368,327	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	2,788,514	2,788,514	
十六銀行株式配当金	482,678	551,632	株式保有数81,424株
受取利息	408	501	普通預金利息
計	3,271,600	3,340,647	

支出の部

次年度繰越金	3,271,600	3,340,647	
計	3,271,600	3,340,647	

【總會特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	5,317,663	5,317,663	
平成27年度總會運営費繰入金	1,200,000	1,200,000	運営費貸出金の返済金
平成27年度同窓会總會余剰金	-	4,052,776	平成27年8月受け入れ
受取利息	694	1,222	
計	6,518,357	10,571,661	

支出の部

平成28年度總會運営費繰出金	1,200,000	1,200,000	運営費一時貸出金
振込手数料	-	540	
次年度繰越金	5,318,357	9,371,121	
計	6,518,357	10,571,661	

上記の通りご報告申し上げます。

平成28年3月31日

平成27年度岐阜高等学校同窓会

会 計 杉山 正裕

会 計 杉山 文康

上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。

平成28年3月31日

平成27年度岐阜高等学校同窓会

監 査 伊在井みどり

監 査 佐伯 淑子

第5号議案
平成28年度岐阜高等学校同窓会 予算案

自 平成28年 4月 1日
 至 平成29年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	2,572,820	
同窓会入会費	1,182,000	@ 3,000 × 394名
受取利息	454	普通預金利息
雑収入	0	
計	3,755,274	

支出の部

役員会費	50,000	3回
慶弔費	50,000	
祝儀、饗別	200,000	在京同窓会等
總會運営費	300,000	平成29年度總會運営委員会補助金
旅費	100,000	在京同窓会出席者旅費等
通信費	10,000	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	200,000	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
手数料	10,000	振込手数料
校史資料室整備費	100,000	資料整理用品等
経費	30,000	同窓会名簿処理費等
次年度繰越金	2,705,274	
計	3,755,274	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	3,340,647	
十六銀行株式配当金	551,632	株式保有数81,424株
受取利息	501	普通預金利息
計	3,892,780	

支出の部

次年度繰越金	3,892,780	
計	3,892,780	

【總會特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	9,371,121	
平成28年度總會運営費繰入金	1,200,000	運営費貸出金の返済金
受取利息	1,222	普通預金利息
計	10,572,343	

支出の部

平成29年度總會運営費繰出金	1,200,000	運営費一時貸出金
次年度繰越金	9,372,343	
計	10,572,343	

平成27年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会

自 平成26年9月1日
至 平成27年8月31日

(単位:円)

1. 収入の部

科目名	平成27年度		平成26年度		備考
	(予算)	(実績)	(予算)	(実績)	
本会預り金収入	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計より運営資金として
本会受入金収入	300,000	300,000	300,000	300,000	一般会計より総会費
会費収入	5,400,000	5,328,000	4,800,000	5,272,000	@9000×592名
広告料収入	4,000,000	4,880,000	4,300,000	6,150,000	
協賛金収入	800,000	542,598	0	0	
祝儀収入	0	20,000	0	0	
受取利息(繰り越し分)	0	145	0	0	
受取利息	0	563	0	434	
合計	11,700,000	12,281,306	10,600,000	12,922,434	

2. 支出の部

科目名	平成27年度		平成26年度		備考	
	(予算)	(実績)	(予算)	(実績)		
総会費	懇親会費	5,364,400	4,627,528	4,500,000	5,914,712	岐阜グランドホテル支払
	謝礼金	0	0	150,000	40,000	懇親会アトラクション
	会場費	0	45,900	0	0	会場セッティング費用
	イベント費用	0	34,330	0	0	饅頭開き費用
印刷費	2,000,000	1,775,997	3,500,000	2,861,824	会報、総会案内状、封筒、払込票、その他	
通信費	150,000	187,840	200,000	77,627	広告依頼書等発送費、電話代等	
会議費	30,000	34,780	200,000	238,980	運営委員会、部長会会場代等	
事務所費	0	0	100,000	50,000	事務所借り上げ代	
事務費		32,082	150,000	51,613	文具代 備品消耗品等	
振込手数料	300,000	97,783	150,000	131,271	コンビニ収納手数料、経費の振込手数料	
雑費		10,800	50,000	68,110	岐阜新聞広告	
活動費	0	490	100,000	0	取材費	
反省会費	100,000	153,000	300,000	474,425	反省会、次期引継ぎ会費用(反省会のみ)	
本会預り金返還支出	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計へ運営費預り金の返還	
会費返金支出	0	28,000	0	24,000	現役岐高教諭会費返還 7名分	
予備費	0	0	0	0		
余剰金	2,555,600	4,052,776	0	1,789,872		
合計	11,700,000	12,281,306	10,600,000	12,922,434		

上記の通りご報告申し上げます。

平成27年9月1日

運営委員長

本田 勝



財務部長

名和 博



上記について監査をした結果、適正に処理されていることをご報告いたします。

平成27年9月1日

監 査

大道寺 圭子



監 査

後藤 篤志



平成 28 年度 岐阜県岐阜高等学校同窓会総会 予算書

1. 収入の部

(単位:円)

科目名	平成 28 年度 (予算)	備考
本会預かり金	1,200,000	特別会計より運営資金として預り
本会受入金収入	300,000	一般会計より総会費として
会費収入	5,400,000	9,000 円× 600 名
広告料・協賛金収入	5,000,000	
祝 電	0	
受取利息	0	
会費販売収入	0	
合 計	11,900,000	

2. 支出の部

(単位:円)

科目名	平成 28 年度 (予算)	備考	
総 会 費	懇親会費	5,338,014	ホテル飲食、会場設営費
	謝礼金	100,000	アトラクション
印刷費	3,500,000	会報(1,200部)、案内状、封筒、払込票ほか	
通信費	300,000	総会案内状、広告依頼書発送費等	
会議費	200,000	各種打ち合わせ会議等	
事務費	100,000	コピー代、事務費等	
振込手数料	150,000	会費収納手数料等	
雑 費	50,000		
反省会費	200,000	反省会、次期引継費用	
本会預かり金返金	1,200,000	特別会計へ運営費預かり金の返還	
会費返金			
予 備 費	761,986		
余 剰 金			
合 計	11,900,000		

岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

- 第 1 条** (名称) 本会は岐阜県立岐阜高等学校同窓会と称する。
- 第 2 条** (目的) 本会は会員相互の親睦を図り併せて母校の発展に寄与することを以て目的とする。
- 第 3 条** (組織) 本会は次の会員を以て組織する。
- 正会員
 - 岐阜県岐阜中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜高等女学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一高等学校卒業生
 - 岐阜県岐阜女子高等学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校併設中学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校卒業生
 - その他役員会の議を経て、会長の承認した者
 - 特別会員
 - 現職員・旧職員
- 第 4 条** (役員) 本会は次の役員をおく。
- | | | |
|---------|-----|-------------|
| 名誉顧問・顧問 | 若干名 | 役員会に於て推挙する。 |
| 名誉会長 | 1名 | 母校校長 |
| 会長 | 1名 | 総会に於て選出する。 |
| 副会長 | 若干名 | 総会に於て選出する。 |
| 監査 | 若干名 | 総会に於て選出する。 |
- 第 5 条** (役員の仕事) 役員の仕事は次の通りとする。
- 会長は会務を総括し、総会・役員会を招集し、その議長となる。
- 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。
- 会長・副会長は、会務の企画並びに会計に関することを行う。
- 監査は会計を監査する。
- 顧問は会長の諮問にこたえる。
- 第 6 条** (役員の仕事) 役員の仕事は2年とする。但し再選を妨げない。
- 第 7 条** (総会) 本会の目的を達成するため、毎年1回定期総会を開く。但し必要のある場合は臨時総会を開く。
- 第 8 条** (入会金) 正会員は入会金を納入する。
- 第 9 条** (経費) 本会の経費は入会金、寄付金等を以て充てる。
- 第 10 条** (会計) 会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わる。
- 第 11 条** (支部) 本会には支部を設けることができる。
- 第 12 条** (同窓会事務局所在地場所) 岐阜市大縄場3の1、岐阜県立岐阜高等学校内に置く。

(平成25年6月9日 一部改定)

学校生活

自分はどうなるという理由の無い思い込みと、こうなりたいという焼けるような熱望。そしてなわっかないというやけっぱちなあきらめ



(S48)

MEMORIES



▲一見まじめな風景、でも良く見ると…(S58)



▲親単、基礎英、4STEPにチャート式。まるで日課のようだった。チャンペラも欠かせない一冊!?(H5)



▲授業は時間割どおりに進んだけど…(S58)



▲英語のレベルの高さに驚きと戸惑いの日々。この英語の教科書使用は岐阜ならではの。(H5)



▲今はプールもなく石碑が残るのみ



▲3年間お世話になった旧校舎



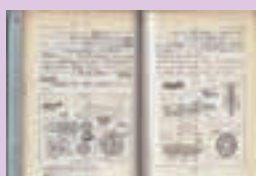
▲新校舎への想いはこれからどれくらい積み重ねられるのか。



▲ガリレオ像。それでも地球は回っているといえる勇気をGKにくれたか



▲進路指導室、この文字威圧感あったなあ



▲学年の始めは張り切って書き込んだけど



▲終わりの方になってしぼんでしまうことだってあるさ



▲徒歩、自転車、バス、路面電車、名鉄、国鉄、下宿、教科書だけでは ツマンナイ!



▲学校生活水洗トイレタンク

青春の汗といわれるのは恥ずかしかったが、汗が流れるのはここちよかった

体育祭



▲空が青かった日のスナップ。この日だけ男子の体育委員はうらやましがられた(S48)



岐高グラフィティ

OUR SWEET



▲当時の流行は長めのスカートでも、このスコート姿で応援がんばったわ～(S58)



▲記録はともかく、走っている時はみなヒーロー(予備軍)だった(S48)



▲盛り上がりには欠けると思いきや、スタートした途端、皆が注目!とにかく必死に引っ張る、走る!!(H5)



▲土砂降りの中で、気迫のこもった姿と掛け声。エネルギーは全てこの瞬間に惜しみなく注がれた。(H5)



▲何のために引っ張るかとはともかく、とにかく引っ張る・・・引っ張り込むものは果たして何?(S58)

MEMORIES

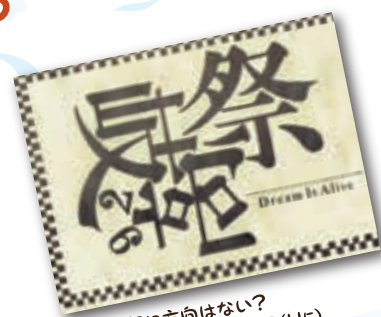
文化祭



▲岐高祭の案内図
今はなき旧体育館・新体育館も熱い会場でした(S58)



▲文化祭日程表
どこに行こうか迷いましたよね～(S58)



▲岐高祭に方向はない？
どこからみても岐高祭？(H5)



▲男子クラスの出し物は大いに盛り上がった。ジュリアナ東京に負けない岐高のお立ち台。(H5)



▲空へ憧れ大凧を飛ばす(S48)



▲空に～あこがれて～ 空を～かけていく～
ひこうき雲ではなく、飛行船でした(S58)



▲来るべき社会の構図を噛締めています(S58)



▲楽しさに疲れ、やや倦怠感。でもこの時間は終わって欲しくなかった(S48)



▲観光地で騒ぐ修学旅行生に優しい気持ちで居られるのはこのときの自分のおかげ(S48)



▲錦帯橋をわたりながら話すのは、進路かはたまた恋ばなか(S48)

修学旅行

修学旅行の修学の意味は、考えたことも無かった。でも旅行って楽しい

でも何かを表現しようとしている自分がいるだけでよかった

山登って、飯盒炊爨し、露天風呂。何が面白かったのか、でも笑顔になった

林間学舎、山の家



▲1年生時に誰もが利用した林間学舎(山の家)。キャンプファイヤー、登山、飯盒炊飯…思い出は尽きない。(H5)

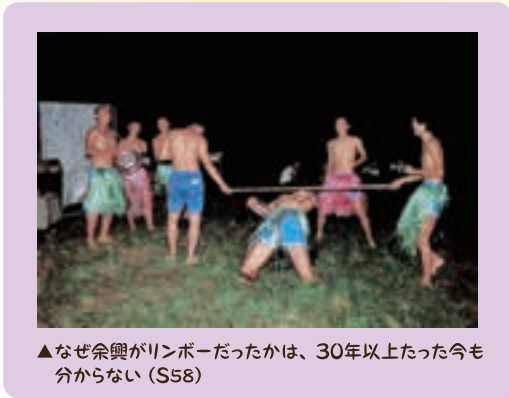


岐高グラフィティ
OUR SWEET

▲山頂からの絶景は忘れられない思い出。山があるから山に登る! (H5)



▲露天風呂、いつの時代もいいものです(S58)



▲なぜ余興がリンボーだったかは、30年以上たった今も分からない(S58)



▲なぜ、文化祭といい、体育祭といいどこに行っても最後はフォークダンスなんだ。楽しい。(S48)



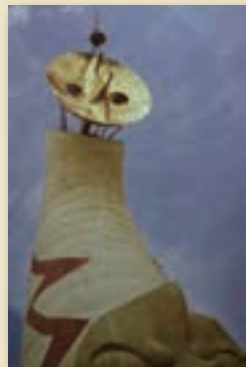
▲例年の修学旅行からスキー研修へシフト。広大な雪原にいただけで気持ちよかった。(H5)



▲インストラクターによる宿舎での講習。レジャーとしてのスキーではなく、研修ならではの一幕。(H5)

スキー研修

あの時代の二と



大阪万博(太陽の塔)



安田講堂炎上
(朝日新聞社提供)



月面着陸(朝日新聞社提供)

1955 昭和30年 ◆自由民主党成立 ◆経済高度成長長期始まる
◆「太陽の季節」 ◆三種の神器普及し始める

1957 昭和32年 ◆ダイエー1号店 ◆ココロ国内発売 ◆裕次郎人気

1958 昭和33年 ◆インスタントラーメン ◆ロカビリーブーム

1959 昭和34年 ◆伊勢湾台風 ◆「少年マガジン」「少年サンデー」創刊

1960 昭和35年 ◆日米安保条約 ◆安保闘争

1961 昭和36年 ◆「上を向いて歩こう」

1963 昭和38年 ◆「鉄腕アトム」「鉄人28号」TV放映 ◆青春歌謡ブーム

1964 昭和39年 ◆東海道新幹線 ◆東京オリンピック

1965 昭和40年 ◆カセットテープレコーダー ◆エレキブーム ◆「火の鳥」

1966 昭和41年 ◆ザ・ビートルズ来日公演 ◆「巨人の星」「意地悪ばあさん」

1967 昭和42年 ◆ミスカーブブーム ◆グループサウンズブーム

1968 昭和43年 ◆三億円強奪事件 ◆3Cが普及し始める ◆「受験生ブルース」「帰って来たヨッパライ」

1969 昭和44年 ◆GNPP西側諸国で二位に ◆東大闘争 ◆アポロ11号月面着陸 ◆「赤頭巾ちゃん気をつけて」 ◆深夜放送ブーム

1970 昭和45年 ◆大阪万博 ◆三島由紀夫自決 ◆フォークソング全盛 ◆「ahan」創刊

1971 昭和46年 ◆カップヌードル ◆マクドナルド日本1号店 ◆ボーリングブーム ◆「仮面ライダー」

1972 昭和47年 ◆札幌冬季オリンピック ◆沖縄返還 ◆田中角栄ブーム ◆日本列島改造論 ◆上野動物園にパンダ

1973 昭和48年 ◆第二次オイルショック ◆巨人V9 ◆中3トリオ、百恵、淳子、昌子 ◆「日本沈没」

1974 昭和49年 ◆高度成長時代終わる ◆コンビニ1号店 ◆ニューミュージック ◆「宇宙戦艦ヤマト」TV放映

1976 昭和51年 ◆ロッキード事件 ◆「限りなく透明に近いブルー」 ◆ピンク・レディー ◆キャンディーズ

1977 昭和52年 ◆モラトリアム人間 ◆カラオケ流行しだす ◆ユージン ◆中島みゆき

1978 昭和53年 ◆成田国際空港開港 ◆岐阜高校甲子園へ ◆スペースインベーダー ◆「スター・ウォーズ」

1979 昭和54年 ◆第二次オイルショック ◆大学共通入学力試験 ◆ウォークマン ◆ウサギ小屋に住む仕事中毒の国



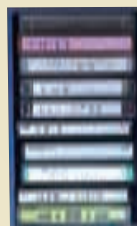
「鉄人28号」



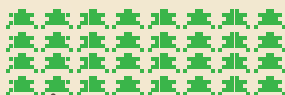
「火の鳥」



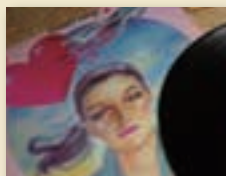
「宇宙戦艦ヤマト」



カセットテープ



「スペースインベーダー」



ユージン



キャンディーズ



山口百恵



「ガンダム」



「スター・ウォーズ」



岐阜甲子園出場(岐阜高校提供)



フォークソングブーム



阪神淡路大震災(朝日新聞社提供)



ベルリンの壁崩壊(朝日新聞社提供)



瀬戸大橋開通



東京ディズニーランド開園



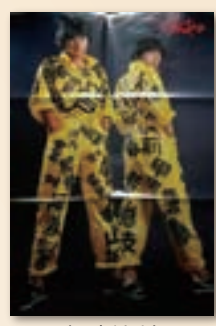
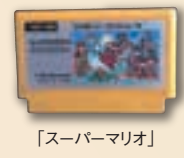
サッカーリーグ(朝日新聞社提供)



ぎふ中部未来博88(岐阜新聞社提供)



中日ドラゴンズ優勝 82年



(昭和57年10月5日)

現代の岐高生群像

生活

“無趣味”の証明

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
音楽	読書	読書	読書	読書	読書	読書	読書	読書	読書
音楽	読書	読書	読書	読書	読書	読書	読書	読書	読書

趣味

趣味のアンケートでは、当局の予想通り、音楽鑑賞のベスト1は揺ぎないものであった。そして、第2グループにスポーツ・TV・読書が続いた。また、男女別に見てみると第5位以下に男女の差が歴然と表れている。男子がゲーム・将棋と続くのに対し、女子は料理・美術と非常に対照的ではあるが、趣味というものは、勉強で追い込まれた我々の受験生活に風を吹き込む潤滑油のごとく、次へのステップへの足がかりとなるエネルギー源であるこ

とはかわりない。

前回(3年前)と比較すると、男子では十傑のうちでラジオ等が姿を消し、一段と生活の中でのテレビ化が進んできたように思われる。また女子では、ピアノ、マンガ等が姿を消し、美術等が現れた。

全体として気づくのは、今回初めて「無趣味」というのが現れたのが目立った点である。これは現在の高校生の「勉強第一主義」をいかに象徴している様である。前にも述べた様に、趣味は人生に於いての潤滑油的存在であるからこれでは寂しいのではないだろうか。

最後に回答率は低いが、注目されるものを挙げる。次のようなものがある。「夕日を眺める」「マイコン」「教育」「ひまわり」etc



多様化する人物感

夏目漱石	芥川龍之介
高井康彦	田中康夫
星野一	高村敏吉
A.ワイルド	山手樹生
北杜夫	松本清張

松田聖子	田原俊彦
藤あや子	柏島由美
伊藤つか	松田聖子
松本伊代	松田聖子
松本美津子	河合全寿子

岡本太郎	岡本太郎
ピカソ	ピカソ
ゴッホ	ゴッホ
東山魁夷	ベネチア
岸田龍雄	岸田龍雄

“多い自分”への不満

「一番不満に思うことは？」という問いに対して、学年性別を問わずたいへん多かった回答は「自分」だった。もう少し突っ込んで質問してみればはつきりしたかもし



れないが、不満の解決方法の回答と照らし合わせてみると、多少抽象的な自己嫌悪ということのようだ。

「自分」に続いて「学校」「社会」「政治」という不満の順であったが、この四つで総数の九割弱を占め、他者の追従を許していない。なお、五位以下を参考までに挙げると、「家庭」「先生」「友人」「勉強」となっている。

(昭和51年3月1日)

ためきねいり

岐高人勉強エトセトラ

☆ジョーヌ型
何でもがぶのみの、暇ある時に時間をかけて消化する。他人からやつつけようと闘志を燃やされるが、ものともしない。消化しきれない場合は爆発の危険もあるとか！

☆エマ・エル婦人型
どの教科に対して異常なほどの興味を示し、深く掘り下げようとする。が、いつも肝心なところがぼけている。しかし、ご当人は結構満足しているらしい。

☆マイ・ウェイ・マドリックス型
我が道をまっすぐ

☆フリック・ストー
勉強を愛し、勉強に生きる。身を案

☆ロミオとジュリエット型
ある日突然クラスで存在を認められる。授業中に奇妙なことを発して、笑いをまきおこす彼の勉強法について

☆ザ・モジャモジャ型
本日はここに八つの型を発表しましたが、まだ調査が十分ではありません。十人十色などと言いますから、さらに多くの型があることが予想されます。あなたの型を当局に御連絡下さい。

(昭和46年12月1日)

アンケート結果 (子どもたちは多量の男子を代表、女)

1. あなたは現在どのような生き方をしていますか？
 ア 現在だけを精いっぱい生きている。
 イ 未来の希望に向かって前進している。
 ウ 過去の自分をふり返り、現在と比較しながら生きている。
 エ 現在、過去、未来の何にもとらわれず時代の流れのままにさからわず、おし流されている。

	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
ア	23%	44%	24%	33%	17%	22%
イ	41	24	35	10	39	39
ウ	14	10	13	13	17	13
エ	22	22	28	44	24	26

2. 自分の生活の中の「勉強」についてどう思っていますか。
 ア 肯定感一校高へは、大学進学のために勉強しに来たからだから、これでいいのだ。
 イ 否定的―自分にとって何か足りないものがあるような気がする。
 ウ ドウダモイ課一校高だからしかたがないのだ。 エ その他

	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
ア	23%	44%	24%	33%	17%	22%
イ	41	24	35	10	39	39
ウ	14	10	13	13	17	13
エ	22	22	28	44	24	26

- エ けこう楽しい、何も感ぜない、求めるものが何もない(自由、愛、やさしさetc)
 肯定感(ア)のように勉強という現実的なものではない、オレはやりたくないことをやっている、花柳柳葉の娘、芽生、口言つぶしにくる所、バカヤクソ源、わたしはクラブしかない、(ア)にはいるかもしれないが校高一物落しという観念はまちがっている。

3. 青春とは？
 ・adventure、たえることなの、人生の一時期、わからないもの。
 ・自分の可能性をたえず、すべてのこと、考えること、戦い、暗闘。
 ・自分の生き方を開ける時、革命、自由、無秩序、愛、何にでもアツク。
 ・疾風怒涛の時代、自己を確立させる時、失敗のゆるされる時。
 ・やってやってやりまくる時、反復精神、愛。
 ・自己の無能を知る時、無、一枚の絵、水溜の追求意識。
 ・社会的、感情的に最も安定した時、学問探究にうちこむ時。
 ・何でも体験してみたいと思う時、楽しみ。